

第22回CTサミット



主催：CTサミット

後援：九州CT研究会

特定非営利活動法人 日本CT技術学会 (JSCT)

Trends of CT technology ～未来へ繋ぐCT技術～

会期：2018年7月14日(土) 10時00分～18時40分
(受付開始：9時20分から)

会場：北九州国際会議場 メインホール
一般演題(ポスター), 機器展示会場 イベントホール
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3丁目9-30
TEL 093-541-5931

当番世話人：小川 正人(産業医科大学若松病院)

代表世話人：辻岡 勝美(藤田保健衛生大学)

参加費：一般2,000円 学生無料

(学生証の提示要。但し、社会人学生は対象外)

事前演題登録：2018年4月16日(月)～6月15日(金)

(ポスター発表のみ*参加者に限る)

事前参加登録：2018年5月1日(火)～6月30日(土)

登録方法：CTサミット公式ホームページ (<http://ctsummit.jp/>)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ご 挨拶 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・

X線CT装置は、1968年に英国EMI社のハンスフィールド（Godfrey Newbold Hounsfield）による発明を起源と考えると第22回CTサミット開催の2018年に50年を迎えることになる。X線装置かつデジタル画像処理装置であるCTは、高速に広範囲を低被ばくに撮像でき、得られる画像はアーチファクトが少なく高分解能であることが要件とされてきたが、CTの普及が放射線画像診断に大きな影響を齎し医療に大きく貢献したことから類まれなる開発競争が展開され、様々なアイデアに基づく多様な装置が開発され、驚異的速さで進歩発展を遂げてきた。こうした技術進化の過程においては、レトロスペクティブな分析とプロスペクティブな展望が不可欠であり、我々放射線技師の果たした功績は大きく、CTサミット（旧名称：全国X線CT技術サミット）においても、常に“CT技術”にスポットを当てて開催されてきた。

しかしながら、近年は2管球搭載のデュアルソースCT（DSCT）や広範囲の撮像可能なエリアディテクタCT（ADCT）の開発・普及に伴うDual Energy CT技術や造影剤減量技術、逐次近似画像再構成法によるノイズやアーチファクト低減ならびに被ばく低減技術、金属アーチファクト低減技術等、更なる進化を遂げているが、従来からの理論が成立しないことも多々ある。

我々、CTに携わる技術者は、装置や技術の進化と潮流を読み、先入観にとらわれず客観的な判断のもと“CT技術”を未来へ繋げることが必要だと考え、主題を「Trends of CT technology ～未来へ繋ぐCT技術～」とした。本CTサミットでは、個々の分野に造詣の深い講師やシンポジストを招聘して、最新かつ未来へ繋ぐ有意義な情報を提供したいと思いますので多くの皆さまの参加をお待ちしております。

なお、今回のCTサミットは7月14日（土）に開催され、15日（日）、16日（月祝日）が連休となりますので、小倉城や門司港レトロ、九州鉄道記念館、平尾台（カルスト台地と鍾乳洞）といった北九州の観光スポット、更には九州の入口ですので、大分方面や長崎、鹿児島方面へ足を延ばされ九州を満喫して頂ければ幸いです。

当番世話人 小川正人（産業医科大学若松病院）

- ◆ 肺がん CT 検診認定機構「肺がん CT 検診認定技師」の更新講習会受講のための単位が取得できます。
- ◆ 日本 X 線 CT 専門技師認定機構「X 線 CT 認定技師」の更新講習会受講のための単位が取得できます。
- ◆ 日本救急撮影技師認定機構「救急撮影認定技師」の更新のための単位が取得できます。

* 本会参加者には、参加証を差し上げます。

* 申請方法、取得単位数はそれぞれの団体のホームページを確認してください。

主催 CT サミット 運営事務局：東京バンケットプロデュース（亀沢）

TEL：03-3556-6851 FAX：03-3556-6966

- プログラム -

テーマ Trends of CT technology ～未来へ繋ぐCT技術～

2018年7月14日(土) 北九州国際会議場

時間	内容
9:20～	受付開始
9:50～10:00	開会の挨拶 当番世話人 小川 正人(産業医科大学若松病院)
10:00～10:40	教育講演1 座長 村上 克彦(福島県立医科大学附属病院) 「未来へ繋ぐCTの画像評価技術」 宮城県立がんセンター 後藤 光範
10:40～11:20	教育講演2 座長 梁川 範幸(つくば国際大学医療保健学部) 「未来へ繋ぐCTの線量評価技術」 名古屋大学大学院医学系研究科 小山 修司
11:20～12:00	教育講演3 座長 石風呂 実(広島大学病院) 「未来へ繋ぐ造影CT技術」 札幌医科大学附属病院 原田 耕平
12:00～13:30	ランチオンセミナー 座長 宮下 宗治(耳鼻咽喉科麻生病院) 座長 近藤 雅敏(九州大学病院) キャノンメディカル(株), GEヘルスケアジャパン(株), (株)フィリップスジャパン
13:30～14:50	一般発表&機器展示(ショートプレゼン) 座長 大沢 一彰(済生会中和病院) 座長 鷹尾 祐一(医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院)
14:50～15:00	休憩
15:00～15:30	基調講演 ☆☆☆共催企業 長瀬産業株式会社☆☆☆ 座長 辻岡 勝美(藤田保健衛生大学) 「進化する画像後処理技術」 東京女子医大病院東医療センター 福井 利佳 先生
15:30～16:15	特別講演 ☆☆☆共催企業 第一三共株式会社☆☆☆ 座長 平野 透(札幌医科大学附属病院) 「造影CTにおける造影剤減量のピットフォール」 岐阜大学医学部附属病院 放射線部 准教授 五島 聡 先生
16:15～16:30	休憩
16:30～18:20	シンポジウム 座長 船間 芳憲(熊本大学大学院生命科学研究部) 小川 正人(産業医科大学若松病院) 「未来へ繋ぐDual Energy CT技術」 Fast kV switching 久留米大学病院 黒木 英郁 Dual source 山口大学附属病院 久富 庄平 Split Filter 九州がんセンター 南出 哲也 Spectral Detector 熊本中央病院 本田 恵一 Dual Spin 大分大学医学部附属病院 城生 朋顕
18:20～18:40	表彰 代表世話人 辻岡 勝美(藤田保健衛生大学) 閉会の挨拶
19:30～	ナイトカンファレンス (北九州国際会議場イベントホール)

会場案内図

